

# AIの導入をより進めるために効果的な方法は何か

(気仙沼高校・2年4組28番)

## AIの定義

大量のデータからの確かな答えを導き出すための人工的なシステム  
(\*1 人工知能学会・2017)

## 1. 目的

人々がAIを導入する意欲を高めるには、どのような方法を用いるのが効果的なのかを明らかにする

## 2. 背景

- 日本:AIの導入率が39%(\*2 総務省・2018)
  - 偏ったイメージが強い
  - メリットを理解していない
- AIの仕組み・構造を教えると導入が進む

人手不足の解消、経費削減  
外国とのIT格差(\*2)の縮小



生活が豊かになる



(\*3 国連)

## 3. 方法

**調査 I** AI関係の専門家へ聞き取り  
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング様)

**調査 II** ワークショップの開催とその観察

**考察** 効果的な方法を推察



▲ワークショップの様子

## 5. 考察(まとめ)

■AIについて知ってもらうことで  
敷居を低くする

+

■自分や他人の困りごとを深く  
知るワークショップを開くこと



■AIを導入する意欲を高めること  
に効果的

→今後:影響の持続性+範囲の拡大=  
ワークショップを定期的に関く

## 4. 調査結果

**調査 I** 三菱UFJリサーチ&コンサルティング U  
様・K様(\*4)

- AIの導入をためらう理由  
→敷居が高いから
- 導入方法やコストではなく  
現状と理想の明確化が必要  
→できていない人が多い

**調査 II** ワークショップ  
日時:12月5日  
場所:スクエアシップ  
参加者:11名  
内容:①AIの仕組みを教える  
②現状の発表後、全員で議論

- ①簡単な知識を伝える  
→敷居の低下
- ②現状と理想の発表+全員で議論  
→困り事の気づき、  
深まり(明確化)

例)菅原工業 様が  
ワークショップを  
きっかけにAI導入

意欲が前向きに!

参考文献

\*1「一般社団法人人工知能学会 定款」 <https://www.ai-rekai.or.jp/about/about-us/isai/teikan/> 参考  
\*2「総務省 | 令和元年版情報通信白書 | IoT・AIの導入状況と今後の意向」 <https://www.soumu.go.jp/ichohotsusintokai/whitenoiser/04/01/html/nd112220.html> より  
\*3「SDGsのアイコン | 国連広報センター」 [https://www.un.org/ja/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/sdgs\\_logo/sdgs\\_icon/](https://www.un.org/ja/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/sdgs_icon/) より  
\*4「三菱UFJリサーチ&コンサルティング U様・K様」への聞き取り